



議席奪還を喜ぶ下奥さん(中央)(9日午後11時45分、豊橋市で)

共産・下奥さん返り咲き

豊橋市

前回選と同じく激戦で、5議席を8人で争った豊橋市選挙区では、共産党元議員の下奥奈歩さん(35)が返り咲きを果たした。下奥さんは「県民の声を届けるために頑張ります」と笑顔で語った。

共産は2015年の県議選で、下奥さんらが2議席を獲得した。唯一の県政野

党として存在感を示したが、19年の前回選では現職2人を含む候補者10人が全員落選。愛知は都道府県議会で唯一、共産の議席がない県になっていた。

雪辱を期した選挙戦で、下奥さんは小、中学校の給食費の恒常的な無償化や、県独自に返済不要の奨学金を設けることなどを主張。共産支持層に加え、無党派層などにも浸透し、混戦を抜け出した。